

令和6年度
燕市教育行政評価結果報告書

目 次

I. はじめに

1. 点検・評価の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
2. 教育行政評価委員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
3. 点検・評価の実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

II. 点検・評価の結果

【令和6年度評価対象事業】

1. 「令和6年度 評価対象事業一覧」・・・・・・・・・・・・・・ 3
2. 「地域に根ざす学校応援団事業」・・・・・・・・・・・・・・ 4
3. 「ICT教育推進事業」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
4. 「部活動外部人材活用事業」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
5. 「水道の塔保存活用事業」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
6. 「生涯スポーツ振興費」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
7. 「体育施設管理運営費」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13

【第3次燕市学校教育基本計画】

8. 「第3次燕市学校教育基本計画の評価」・・・・・・・・・・・・ 15

III. 教育委員会の事業一覧

1. 令和6年度に実施した主要事業一覧・・・・・・・・・・・・・・ 20

IV. 教育委員会の会議及び教育委員の主な活動状況

1. 教育委員会の会議・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 32
2. 総合教育会議・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 35
3. 教育委員の視察・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 36
4. 教育関係会議・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 36

I. はじめに

1. 点検・評価の目的

燕市教育委員会では、市民に信頼される公正で透明、簡素で効率的な教育行政の実現を図るため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）第 26 条の規定に基づき、毎年、主要な施策及び事務事業の取組状況について点検評価を行い、課題を明らかにし、今後の方向性を示しています。

【参考】地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

【第 3 次燕市総合計画※に掲げる基本方針及び施策】

戦略 1 定住人口戦略

基本方針 2 次代につなぐ教育の推進・子育て支援

施策 1 教育の充実

施策 2 子育て支援の充実

戦略 2 活動人口戦略

基本方針 1 いきいきと輝く健康づくり・生きがいづくり

施策 2 スポーツの推進

施策 3 生涯学習・文化活動の充実

※ 第 3 次燕市総合計画（抜粋）

「燕市教育大綱」は、教育立市宣言を基本目標とし、市の教育、学術および文化の振興に関する方針や施策を定めるものであり、総合計画における教育行政に関する内容がその方針や施策に該当するため、本計画をもって大綱に代えることとします。

2. 教育行政評価委員

(敬称略)

氏 名	役 職 等
委員長 原 田 完 二	元長岡市立寺泊小学校長
副委員長 大 橋 和 明	元燕市立燕西小学校 PTA 会長
委 員 歌 代 佐知江	会社役員

3. 点検・評価の実施状況

令和6年度に実施した全ての予算事業とその上位目標である施策の中から、6 事業について教育行政評価委員から選定していただき、評価を行っていただきました。

また、第3次燕市学校教育基本計画についても点検及び評価を行っていただきました。

開 催 日	出 席 者	委 員 会 内 容
令和7年 6月26日（木）	委員3名、教育次長、教育委員会主幹、学校教育課長、社会教育課長及び事務局職員9名	・事業評価作業 ・第3次燕市学校教育基本計画の評価作業
令和7年 7月24日（木）	委員3名、教育次長、教育委員会主幹、学校教育課長、社会教育課長及び事務局職員9名	・報告書の確認

Ⅱ. 点検・評価の結果

令和6年度 評価対象事業一覧

事業名	評価委員の評価
地域に根ざす 学校応援団事業	• 学校の教育活動の助けとなるように引き続き取り組んでいただきたい。 • 地域コーディネーターという制度の取組や成果の見える化、情報発信に取り組んでいただきたい。 • 全体的に課題と評価を再考して欲しい。
ICT教育推進事業	• 各学校に1人1台の端末が導入された中で、デジタルとアナログのバランスをとりながら、進めていただきたい。 • 端末の使い方について、ルールに則った取扱を図るため、フォローいただきたい。 • ネットワーク環境の整備は非常に重要と考えるが、端末の使用に関するサポート体制の構築や、デジタル教科書等の活用についても仕組みとして入れていただきたい。
部活動外部人材活用事業	• 部活動の地域移行が進められた場合でも、引き続き学校施設の活用や学校との連携を図っていただきたい。 • 教員の働き方改革も含めて、成果を出せたことは評価できる。
水道の塔保存活用事業	• 水道の塔保存活用するために多くの方たちの意見を取り入れて、燕のシンボルタワーとして活性化を図って欲しい。 • 市民に親しまれ、かつ、安全で長期にわたって利用できるように改修工事を進めて欲しい。
生涯スポーツ振興費	• 燕さくらマラソン大会も参加者が増加傾向にあり、地場製品のプレゼント企画も実施され、効果を上げている。燕市のPRと一層結び付けていただきたい。 • 参加者のニーズを捉えて改善した結果が、参加者増につながっているため、今後も継続して欲しい。
体育施設管理運営費	• ビジョンよしだはリニューアルやスポーツ協会・ミスノグループの取組により利用者数が伸びているものと考えられ、評価できる。 • 主要施設で各施設の空き状況を共有し、どの施設でも利用申請を受付できる体制は今後も継続して欲しい。

令和6年度 教育行政評価報告書

点検項目	地域に根ざす学校応援団事業
6年度達成目標	① 学校・家庭・地域が一体となって、子どもたちの健やかな成長や地域全体の教育力向上を目指すことを目的に、地域コーディネーターと連携し、地域のボランティアによる学校行事への協力や放課後学習支援等の充実を図る。 ② コミュニティ・スクールの制度を活かし、学校と地域の更なる連携を強化する。
目標の達成状況	① 市内小中学校 19 校すべてにおいて、地域ボランティアによる学校行事への協力や、放課後学習支援が行われた。 ② コミュニティ・スクールの母体となる「学校運営協議会」が市内小中学校すべて（小中川小と燕北中は合同）に設置された。
取組の概要	① 各校での取組は以下のとおりである。 授業ボランティア（校外学習、水泳授業等）、地域の方によるゲストティーチャー（総合学習、習字、鋤起銅器等）、学校整備ボランティア（図書室、花壇等）、放課後学習支援、職業講話、合唱指導・審査、地域清掃活動等 ② 学校運営協議会で協議、決定したコミュニティ・スクールの取組が行われた。これまでの地域とともにやってきた活動を、さらに充実させている。
自己評価	地域に根ざす学校応援団事業は、各校の教育活動に根付いており、地域の方々と連携した教育活動が行われている。 各コミュニティ・スクールでの取組紹介や情報共有、先進地域から講師を招いて研修を行うなど、コミュニティ・スクール事業を各校が推進できるように支援していく。

評価委員の評価	・学校の教育活動の助けとなるように引き続き取り組んでいただきたい。 ・地域コーディネーターという制度の取組や成果の見える化、情報発信に取り組んでいただきたい。 ・全体的に課題と評価を再考して欲しい。
今後の方向性	・地域コーディネーターが学校と地域をつなぐ重要な役割であることを学校だより等で周知していくことを検討する。 ・研修会で他地域の地域コーディネーターから活動等の紹介をしてもらったり、市内の地域コーディネーター同士で情報交換を行ったりして、活動の幅が広がるよう支援する。

【所管：学校教育課】

令和6年度 教育行政評価報告書

点検項目	ICT 教育推進事業
6年度達成目標	文部科学省が推進する GIGA スクール構想の第2期に基づく、児童生徒 1 人に 1 台の情報端末の配備や無線ネットワークの整備等、ICT を活用した教育の一層推進に向けた環境整備を実施する。
目標の達成状況	【ネットワーク環境整備】 市内各校のネットワーク環境を整えるため、アクセスポイント増設工事を実施した。ネットワーク速度を計測し、推奨帯域を満たさない学校へ業務委託先によるアセスメント調査を行い、課題を抽出した。 【1 人 1 台端末整備】 学習端末更新のため、「新潟県学校 ICT 環境整備推進協議会 1 人 1 台端末共同調達部会」において、令和7年2月にプロポーザルを実施し、学習端末を選定した。
取組の概要	【ICT 事業実施状況】 ① 令和7年度の更新用の学習端末の選定 ② 教育情報セキュリティポリシーの改定 ③ 大型掲示装置の導入（7 台） ④ アクセスポイント増設工事（120 台） ⑤ 市内各校ネットワーク速度の簡易測定 ⑥ ネットワークアセスメントの実施
自己評価	GIGA スクール構想第2期での国の意向や県の施策、他市の状況等を把握しながら、必要に応じた ICT 環境の整備等を行うことができた。 今後もめまぐるしく変化していくネットワーク環境について、学習に効果的に活用することができるかを念頭に環境を整えていきたい。
評価委員の評価	・各学校に 1 人 1 台の端末が導入された中で、デジタルとアナログのバランスをとりながら、進めていただきたい。 ・端末の使い方について、ルールに則った取扱いを図るため、フォローいただきたい。 ・ネットワーク環境の整備は非常に重要と考えるが、端末の使用に関するサポート体制の構築や、デジタル教科書等の活用についても仕組みとして入れていただきたい。

今後の方向性	・GIGA スクール構想では、「これまでの我が国の教育実践と最先端のICTのベストミックスを図ることにより、教師・児童生徒の力を最大限に引き出す」と述べられている。ICT 偏重とならないよう、学校と連携しながら進めていく。 ・現在もタブレットの使い方について、事前に児童生徒とルールを確認したり、保護者へ向けて家庭での取り扱い方について周知したりしているが、より徹底されるよう対応策について検討していく。 ・学校現場と連携しながら、必要とされる対応について検討していく。
---------------	---

【所管：学校教育課】

令和6年度 教育行政評価報告書

点検項目	部活動外部人材活用事業
6年度達成目標	部活動指導員を中学校に配置し、教職員の負担軽減を図り、生徒一人ひとりの生徒の実態に応じた部活動指導の充実を図る。また、部活動指導員に対する研修を行い、より優れた指導者の育成を図る。
目標の達成状況	●部活動指導員の人数 令和5年度：19人 令和6年度：26人 ●部活動指導員研修の実施について 令和5年度：年度初に1回実施 新任者対象に随時実施（8回） 令和6年度：年度初に1回実施 新任者対象に随時実施（11回）
取組の概要	教員と協力しながら、部活動の技術指導や運営を担う指導者を配置する。指導員単独でも部活動指導や大会等の引率を可としている。これにより、特に該当部活動の指導経験のない教職員の負担軽減を図るとともに、生徒にとっても優れた技術指導を受けられるようにする。
自己評価	令和6年度においては、26人の部活動指導員が関わったことで、学校の教職員の負担軽減が図られた。令和5年度及び6年度とも部活動指導開始前の4月上旬に指導研修を実施したことで、指導者の質向上につながられた。令和5年度から始まった休日の地域クラブ活動では、多くの部活動指導員が指導者になっており、部活動の地域移行につながる取組が進められたとも考える。
評価委員の評価	・部活動の地域移行が進められた場合でも、引き続き学校施設の活用や学校との連携を図っていただきたい。 ・教員の働き方改革も含めて、成果を出せたことは評価できる。
今後の方向性	・部活動の地域移行を円滑に事業展開するとともに、学校との連携を継続していく。 ・教員の働き方改革進捗につなげるため、引き続き指導員の確保を進め事業の充実に努める。

【所管：学校教育課】

令和6年度 教育行政評価報告書

点検項目	水道の塔保存活用事業
6年度達成目標	現在の燕市旧浄水場配水塔（水道の塔）は、外壁の剥落により安全性の確保ができず、適切な継承が困難となっており、国庫補助金等を活用して改修工事を行うこととしている。令和6年度は文化財の継承にかかる課題を把握し、必要な修繕方法や保存・活用の取り組み方針等を示した「保存活用計画」を策定する。
目標の達成状況	保存活用計画策定委員会を2回（令和7年1月及び同年3月（書面決議））開催し、保存・活用に関する方針等を審議し「燕市旧浄水場配水塔保存活用計画」を策定した。
取組の概要	○策定支援業者による当該建築物の調査 計画策定に必要な水道の塔の平面図やモデリング図の作成。躯体における温湿度調査など基礎調査の実施。 ○保存活用計画策定委員会による審議 委員6名（大学教授3名、社会教育委員1名、文化財調査審議会委員1名、市民代表1名）により、主に保存管理の方針と活用の方針について審議。（以下は検討された主な内容） ・ 保存管理の方針：躯体損傷部の修復として、欠損や剥離箇所にモルタルを充填し修復を行う。その上で、躯体の表面から鉄筋が配置されている深さを目安に樹脂注入を行い表層部の強度を上げる。補修後の新たな剥落を防止するために、外壁に連続繊維シートで表面を覆う。 ・ 活用の方針：これまでの見学会や講演会などを再開するとともに、情報発信の場を創設する。デジタル技術を活用し、上部からの景色の体験映像の作成などを検討するとともに、ライトアップなどによる地域のランドマーク性を強化する整備を図る。 ○文化庁との協議 活用計画の保存管理や活用の方針等についての協議を実施。

自己評価	令和 6 年度に保存活用計画を策定したことにより、令和 7 年度の設計業務、令和 8 年度以降の改修工事に対する国庫補助金の活用が可能になったため、水道の塔を適切に維持・管理できるとともに、公開による様々な活用ができ、確実に後世へ伝えられる。
評価委員の評価	・多くの方たちの意見を取り入れて、燕のシンボルタワーとして活性化を図って欲しい。 ・市民に親しまれ、かつ、安全で長期にわたって保存・活用できるように改修工事を進めて欲しい。
今後の方向性	保存活用計画に基づいて、安全安心な建造物として改修を実施するとともに、改修後は、地域のシンボルとして親しめるような取り組みを進め、適切に保存し将来に継承していく。

【所管：社会教育課】

令和6年度 教育行政評価報告書

点検項目	生涯スポーツ振興費
6年度達成目標	スポーツ教室やスポーツ大会、燕さくらマラソン大会やニューススポーツ大会などを開催し、市民の健康増進や競技力の向上を図る。
目標の達成状況	・スポーツ教室…38 教室で参加者は 903 名（前年度：714 名） ・スポーツ大会…54 大会で参加者は 7,230 名（前年度：6,671 名） ・燕さくらマラソン大会…定員 2,000 名に対し参加者 1,876 名（前年度 1,695 名） ・ニューススポーツ大会…5 大会で参加者は 474 名（前年度 436 名）
取組の概要	○スポーツ教室 ・ニーズを捉えて様々な教室を開催し、市民の健康づくりを促した。 ・教室開催後は、総合型スポーツクラブへの入会を勧め、年間を通して健康づくりに取り組める環境づくりに努めた。 ○スポーツ大会 ・スポーツ協会加盟団体が主管で様々な大会を開催し、活動人口の増を図った。 ○燕さくらマラソン大会 ・老若男女、幅広い方が参加できる種目を設定した。（2km、3km、10km、ハーフマラソン、2km 親子ペア、5km ウォーキング） ・令和 6 年度からハーフマラソンの定員を 200 名増の 1,000 名とした。 ・ゼッケンを用いたお楽しみ抽選会を実施し、当選者には地場製品をプレゼントした。 ・地元自治会やまちづくり協議会がエイドステーション（給水所）運営に協力していただき、ランナーへのおもてなしを実施した。 ・メディカルランナー（競技中の救護活動に協力できるランナー）の配置や地元の高校生から AED 自転車隊としてコース内巡回により安全確保に努めた。 ○ニューススポーツ大会 ・幅広い年代が参加できるニューススポーツ（ソフトバレーボール、スポレック、グラウンドゴルフ、ターゲットバードゴルフ）の大会を開催し、市民の健康づくりを促した。

自己評価	○スポーツ教室、スポーツ大会 ・前年度と比較していずれも増加していることから、各種教室や大会は健康増進や競技力の向上の場として定着してきたと考える。 ○燕さくらマラソン大会 ・4月は県内に同様の大会が多く競合する中での開催となるが、過去最多の1,876名の参加があったことから、ランナーにとって魅力的な大会の1つであると考え（4/7 村上笹川ながれマラソン 977名、4/14 角田ハーフマラソン 558名、4/21 見附刈谷田川マラソン 1,004名）。 ○ニュースポーツ大会 ・参加者数については前年度とほぼ同程度となっている。大会及び参加者の固定化が見られるため、新たに参加しやすい内容、大会参加の周知など、スポーツ協会と連携しながら工夫が必要である。
評価委員の評価	・燕さくらマラソン大会も参加者が増加傾向にあり、地場製品のプレゼント企画も実施され、効果を上げている。燕市のPRと一層結び付けていただきたい。 ・参加者のニーズを捉えて改善した結果が、参加者増につながっているため、今後も継続して欲しい。
今後の方向性	・燕さくらマラソン大会については、競技参加者の満足度の向上と同時に、関係者と協力しながら「支える（運営スタッフなど）」、「見る（沿道での応援など）」で関わる人たちのより一層の充実を図ります。 ・いずれの事業についても、参加者のニーズを捉え、反省点を改善していくことで、参加者増を目指して引き続き取り組んでいきます。

【所管：社会教育課】

令和6年度 教育行政評価報告書

点検項目	体育施設管理運営費
6年度達成目標	多様化する市民のスポーツニーズに、より一層対応し、市民に充実したスポーツサービスを提供するとともに、体育施設の管理運営を効率的、効果的に行い体育施設を活用したスポーツの実施率を高める。
目標の達成状況	令和6年度体育施設利用者数 ■燕市体育センターほか24体育施設 燕地区 199,606人（前年度 199,974人） 吉田地区 103,395人（前年度 101,102人） ビジョンよしだ 269,641人（前年度 248,780人） 分水地区 119,372人（前年度 122,764人）
取組の概要	体育施設25施設の指定管理業務委託を行うとともに、燕北多目的武道場及び分水プールの施設管理を行った。各施設の空き状況を共有し、どの主要施設（燕市体育センター、吉田総合体育館、分水総合体育館、スポーツランド燕）でも確認できる環境を整えた。また、燕、吉田、分水の3地区で毎月スポーツ祭（無料一般開放）を開催し、夏には七夕や縁日イベント、秋には酒吞童子コラボ、冬にはクリスマスイベントなどの実施やプールに浮かべて遊ぶ巨大遊具「アクアジム」の導入など各施設にて年間を通して様々なイベントを開催し利用者増加に繋げた。
自己評価	主要施設で各施設の空き状況を共有し、どの施設でも利用申請を受付できる体制を強化しており、利用者の目線に立った方策が取られていた。また、酒吞童子とのコラボイベントの開催やビジョンよしだのプールに浮かべて遊ぶ巨大遊具を導入するなど地域特性や施設の特性を活かした取り組みが見られた。

評価委員の評価	・ビジョンよしだはリニューアルやスポーツ協会・ミズノグループの取組により利用者数が伸びているものと考えられ、評価できる。 ・主要施設で各施設の空き状況を共有し、どの施設でも利用申請を受け付ける体制は今後も継続して欲しい。
今後の方向性	評価できる取組については今後も積極的に推進するとともに、施設利用申請の仕組みの構築など、利用者の目線に立ったサービスの提供を摸索していき、誰もが利用しやすい施設を目指します。

【所管：社会教育課】

第3次燕市学校教育基本計画の評価

～令和6年度の指標について～

目標1：豊かな心と健やかな体を育みます

■目標の達成状況

R5と比較し、1を上回る向上は↑、1を下回る下降は↓、
同等（±1以下）は→

指標項目	出所	対象	基準値	R5	R6	中間目標値	目標値	中間目標値
			R4			R8	R12	達成度
「自分には、よいところがあると思う」と回答した児童生徒の割合	学校教育課 調べ	小学4～6年生	88.6%	88.0%	↑ 89.2%	90.0%	91.0%	○
		中学1～3年生	85.1%	89.6%	↓ 88.2%	87.0%	89.0%	◎
「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」と回答した児童生徒の割合	学校教育課 調べ	小学4～6年生	96.8%	96.7%	↑ 97.7%	100.0%	100.0%	△
		中学1～3年生	95.6%	97.1%	→97%	100.0%	100.0%	△
「運動やスポーツをすることが好き」と回答した児童生徒の割合	学校教育課 調べ	小学4～6年生	83.5%	84.6%	→84.0%	85.0%	87.0%	△
		中学1～3年生	78.1%	80.8%	↓ 79.2%	80.0%	82.0%	○

◎ 中間目標値を達成 ○ 中間目標値に対する達成率50%以上
△ 基準値以上、中間目標値達成率50%未満 ▼ 基準値を下回る

目標2：多様性を認め合い、生涯にわたって学び続ける力を育みます

■目標の達成状況

R5と比較し、1を上回る向上は↑、1を下回る下降は↓、
同等（±1以下）は→

指標項目	出所	対象	基準値	R5	R6	中間目標値	目標値	中間目標値
			R4			R8	R12	達成度
「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う」と回答した児童生徒の割合	学校教育課調べ	小学4～6年生	81.0%	81.8%	↓78.3%	83.0%	85.0%	▼
		中学1～3年生	88.9%	87.2%	↓83.2%	90.0%	91.0%	▼
「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と回答した児童生徒の割合	学校教育課調べ	小学4～6年生	86.7%	86.4%	↓85.3%	88.0%	90.0%	▼
		中学1～3年生	92.8%	93.0%	↓89.5%	93.0%	94.0%	▼
教研式標準学力検査NRT偏差値平均50以上の中学1年生から3年生の教科の数（国語、数学、英語）※中学1年生の英語を除く全8教科	教研式標準学力検査NRT	中学1～3年生	3教科	0教科	→0教科	6教科	8教科	▼
「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」と回答した児童生徒の割合	学校教育課調べ	小学4～6年生	88.9%	87.0%	→87.6%	90.0%	91.0%	▼
		中学1～3年生	89.3%	90.6%	↓87.1%	90.0%	91.0%	▼

◎ 中間目標値を達成 ○ 中間目標値に対する達成率50%以上
△ 基準値以上、中間目標値達成率50%未満 ▼ 基準値を下回る

目標3：「ふるさと燕」に誇りと愛着を持ち、地域に貢献する志を育みます

■目標の達成状況

R5と比較し、1を上回る向上は↑、1を下回る下降は↓、
同等（±1以下）は→

指標項目	出所	対象	基準値	R5	R6	中間目標値	目標値	中間目標値
			R4			R8	R12	達成度
「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある」と回答した児童生徒の割合	学校教育課調べ	小学4～6年生	79.0%	82.0%	↓76.6%	81.0%	83.0%	▼
		中学1～3年生	73.4%	72.8%	↓69.0%	75.0%	77.0%	▼
「人の役に立つ人間になりたいと思う」と回答した児童生徒の割合	学校教育課調べ	小学4～6年生	95.7%	95.9%	→96.6%	96.0%	97.0%	◎
		中学1～3年生	97.2%	97.3%	→96.3%	98.0%	99.0%	▼
「今住んでいる地域の行事に参加している」と回答した児童生徒の割合	学校教育課調べ	小学4～6年生	71.8%	77.6%	→78.4%	73.0%	75.0%	◎
		中学1～3年生	51.8%	51.6%	↓49.9%	53.0%	55.0%	▼

◎ 中間目標値を達成 ○ 中間目標値に対する達成率50%以上
△ 基準値以上、中間目標値達成率50%未満 ▼ 基準値を下回る

目標4：学校・家庭・地域の連携を強化し、子供たちの学びや育ちを支えます

■目標の達成状況

R5と比較し、1を上回る向上は↑、1を下回る下降は↓、
同等（±1以下）は→

指標項目	出所	対象	基準値	R5	R6	中間目標値	目標値	中間目標値 達成度
			R4			R8	R12	
子どもの成長に係る諸課題に対して、保護者とともに研修する機会を設けた学校数	学校教育課調べ	学校	17校	15校	↓13校	18校	19校	▼
地域と連携してSDGs等の取組を実施している学校数	学校教育課調べ	学校	15校	15校	↓13校	17校	19校	▼
学校支援ボランティア活動のべ回数	地域に根差す学校応援団事業報告書	地域・保護者	2,400回	2907回	↓2567回	2,500回	2,600回	◎

◎ 中間目標値を達成 ○ 中間目標値に対する達成率50%以上
△ 基準値以上、中間目標値達成率50%未満 ▼ 基準値を下回る

目標5：信頼される学校づくりを推進します。

■目標の達成状況

R5と比較し、1を上回る向上は↑、1を下回る下降は↓、
同等（±1以下）は→

指標項目	出所	対象	基準値	R5	R6	中間目標値	目標値	中間目標値 達成度
			R4			R8	R12	
「個々の教員が自らの専門性を高めるため、校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的、継続的に参加している」と回答した教職員の割合	学校教育課調べ	教職員	63.6%	69.3%	↑73.6%	65.0%	67.0%	◎
学校を信頼して子どもを通わせることができている」と回答した保護者の割合	学校教育課調べ	小学校保護者	96.9%	95.1%	→95.5%	97.0%	98.0%	▼
		中学校保護者	92.9%	93.2%	↓92.1%	93.0%	94.0%	▼
前年度と比べて子どもと向き合う時間が増えた」と回答した教職員の割合	学校教育課調べ	教職員	67.6%	R5は同様の質問がなく評価不能	↑76.3%	69.0%	71.0%	◎

◎ 中間目標値を達成 ○ 中間目標値に対する達成率50%以上
△ 基準値以上、中間目標値達成率50%未満 ▼ 基準値を下回る

＜評価委員の評価＞

- ・アンケートの結果だけでは見つけられない児童生徒の主体性等を見逃さないようにしていただきたい。
- ・市全体ではこのまま大きな枠組みで評価していただき、学校単位でより詳しく児童生徒の観察を行っていただきたい。
- ・企業・大学等は、学力でない部分を見ている（評価している）。今の時代に合わせて、評価の指標を変えた方がよい。

＜今後の方向性＞

- ・アンケートの結果を校長会で共有し、結果を踏まえた取組を各校で進める。
- ・児童生徒の主体性が育まれるように、指導主事による学校訪問を通じて、一人一人の教職員の授業改善に向けた取組の価値付けと、指導・助言を継続的に実施する。
- ・目標の達成度を把握する指標として、現在の指標項目が適切かどうかを再検討する。

Ⅲ. 教育委員会の事業一覧

1. 令和6年度に実施した主要事業一覧

学校教育課		
No	主 要 事 業 名	事 業 の 概 要
1	児童クラブ運営事業	就労等により、昼間保護者が家にいない小学生に遊びと生活の場を提供し、児童の健全育成と保護者支援を行いました（公立児童クラブ：20カ所、在籍児童数1,017人（令和7年3月31日現在））。なお、会計年度任用職員の処遇改善等により、令和5年度比で74,947千円の増となりました。
2	小中川児童クラブ建設事業	「福祉の家」の2階及び「小中川児童館」の2階で開設している児童クラブの移転に向け、小中川小学校のプール解体跡地に新たな児童クラブを建設しました。
3	児童クラブメート移転事業	吉田南小学校内で開設している児童クラブの移転に向け、旧吉田南保育園を大規模改修し、新たな児童クラブを整備しました。
4	子どもの居場所整備事業	B&G財団の助成金を活用し、大関小学校区に児童クラブの機能をもつ子どもの居場所の整備を進めるため、令和6年度は設計を行いました。
5	なかまの会管理運営費	児童クラブが設置されていない小学校区において、放課後の子どもの居場所づくりを目的として、3カ所のなかまの会の運営を行いました（登録児童数158人：延べ19,070人）なお、会計年度任用職員の処遇改善等により、令和5年度比で11,022千円の増となりました。
6	Jack & Bettyプロジェクト	外国語指導助手（ALT）3人、日本人英語指導員助手（JTE）5人及び英語指導員1人を配置し、保育園・こども園から小中学校まで、一貫した外国語教育を行いました。 また、Jack & Betty教室に加え、英語スピーチコンテスト、Jack & Betty 体験教室を実施したほか、前年度に親善大使に決定した生徒を姉妹都市のアメリカ合衆国シェボイガン市へ派遣しました。 なお、会計年度任用職員の処遇改善及び令和元年度以来5年ぶりに海外派遣事業を実施したことから、令和5年度比で8,111千円の増となりました。
7	特別支援学校就学援助事業	市内在住の盲・聾・特別支援学校に通学する児童生徒の保護者を対象に、経済的負担を軽減するため、就学に必要な経費について援助を行いました。 また、県立月ヶ岡特別支援学校に通学する児童生徒を対象に、保健・福祉施設障がい者地域生活支援センター（はばたき）から学校までの送迎を行いました。 乗車人数の増加に対応するため、新たにマイクロバス1台をリースしたこと等により、令和5年度比で3,770千円の増となりました。
8	奨学金貸付事業	経済的理由により就学が困難な修学意欲のある学生、または生徒を対象に、教育の機会均等と人材育成を図るため、奨学金の貸与を行いました。 なお、一括返還や繰上返還の希望が多く、仲治奨学基金への積立金が増額したため、令和5年度比で6,964千円の増となりました。 ・奨学金貸付金 138人 62,640千円

学校教育課

No	主 要 事 業 名	事 業 の 概 要
9	学校教育管理費	教職員用パソコンの配置や校務支援システムの運用等により教職員の校務効率化を図るため、令和7年度から導入する県内統一の校務支援システムの設定業務等を行いました。 また、いじめ、不登校、虐待など、子どもたちを取り巻く問題が複雑・多様化している学校現場において、弁護士の支援を受けることを目的にスクールロイヤー業務を引き続き委託しました。 なお、会計年度任用職員の処遇改善や教職員用パソコンの入替、統合型校務支援システム導入に伴う設定等により、令和5年度比で21,338千円の増となりました。
10	地域に根ざす学校応援団事業	学校・家庭・地域が一体となって、児童生徒の健やかな成長や地域全体の教育力向上を図るため、地域コーディネーターと連携し、「地域に作られた学校の応援団」として参加する学校ボランティアを地域住民に呼びかけたり、地域ボランティアの協力のもと、「放課後等の学習支援活動」を実施しました。 【補助学校数及び補助額】 19校 4,311千円
11	ICT教育推進事業	GIGAスクール運営支援センターやICT支援員による学校支援やICT環境の整備、ICT機器の修繕等に取り組みました。また、特別教室での1人1台端末を使用することができるようにするため、アクセスポイントの増設工事を実施しました。 なお、会計年度任用職員の処遇改善及びアクセスポイント設置工事等により、令和5年度比で31,471千円の増となりました。
12	燕ジュニア検定事業	児童を対象に、燕市の歴史や文化等を楽しく勉強してもらい、ふるさとへの誇りと愛着をもってもらうため、「燕ジュニア検定問題集（令和4年度改訂）」を活用し、各小学校で燕長善タイム等の時間を利用した学習を行いました。 また、学校で1人1台配付されているタブレットを用いて検定を行い、市内小学生3,170人が受検しました。
13	子ども夢づくり事業	子ども夢基金を活用し、小・中学生が全国スポーツ大会に出場する際の遠征費補助を行いました。 なお、団体チームでの全国大会出場者が増加したことにより、令和5年度比で、人数は69人、補助額2,627千円の増となりました。 【補助件数及び補助額】 ・小学生 66件 1,941千円 ・中学生 40件 1,747千円
14	長善館学習塾事業	市内の小学5・6年生を対象に、南魚沼市での宿泊体験やつばめっこかるたを巡る旅等を実施し、たくましく生きる力やチームワーク、郷土愛を育みました。また、燕市をPRするビデオ制作も行いました。
15	広島平和記念式典派遣事業	非核平和宣言推進事業及び平和学習活動事業の一環として、国際的な視野をもって命の尊厳や平和の尊さについて理解できる生徒を育成するため、市内の中学生を広島平和記念式典に派遣しました。 事前学習、現地での学びで感じたことや考えたことを報告会で発表するとともに、在籍校においても発表の機会を設けました。また、各校で作成した千羽鶴を記念公園に奉納しました。

学校教育課

No	主 要 事 業 名	事 業 の 概 要
16	笑顔で入学支援事業	市内の小学校14校において入学予定児童の保護者を対象に、入学に対する不安解消や心構えなど、入学を円滑にする支援としてリーフレットの配布や講演会を実施しました。
17	燕キャプテンミーティング	市内中学校の生徒を対象に、自分と向き合うこと、視野を広げること、他者に働きかけることをテーマに、元大相撲豊山の小柳さんを講師にナマラの高橋なんぐさんをコーディネーターとして招き、講演会とワークショップを行いました。74人の中学生が参加しました。
18	学校図書館充実事業	計画的に図書を購入し、児童生徒の読書活動の推進や学習環境の整備に取り組みました。 また、学校図書館管理システムを活用して蔵書管理を行うとともに、学校図書館司書の配置により、各学校図書館の運営をサポートしました。
19	羽ばたけつばくろ応援事業	若者の主体的な活動を応援し、燕市の将来を担う人材を育成することを目的に、夢の実現や社会参画に対する支援を行いました。 なお、申請者が増加したことにより、令和5年度比で申請数は7件、補助額1,208千円の増となりました。 【補助件数及び補助額】 団体：12件 2,157千円
20	つばめキッズファーム事業	市内の小学校14校を対象に、児童が農業の収穫の喜びを体験することで、児童を取り巻く農業や食の環境を学ぶとともに、自分の住んでいる地域を知るための機会を設けること等を目的に各校へ補助金を交付しました。 【補助学校数及び補助額】 14校 1,242千円
21	Good Job つばめ推進事業	生徒がふるさとへの愛着や誇りを持ち、自分の将来を設計し、自立して生きていく力を育むため、3日間の職場体験と、各1日のキャリア教育講演会及びマナー講習会の実施を行いました。また、小学生を対象にこどもシゴト博を開催しました。
22	高校とともに創る輝く人材育成事業	平成29年3月29日に県へ提出した「燕市内の県立高校の特色化に関する提案書」に基づき、吉田高校と分水高校の特色ある学校づくりを支援することにより、燕市の将来を担う人材の育成に努めました。 なお、両校への補助金が増額したことにより、令和5年度比で143千円の増となりました。
23	入学準備金貸付事業	高校や専修学校、大学等への入学に際し、経済的理由により就学が困難な者の保護者等を対象に、必要となる資金の一部を入学準備金として貸し付け、教育の機会均等を図りました。なお、令和6年度からは大学院進学者も対象とし、学ぶ意欲のある学生が経済的な理由により、進学をあきらめることがないよう支援しました。 なお、貸付申請者数が倍増したため、令和5年度比で1,829千円の増となっています。 ・入学準備金貸付金 8人 1,600千円

学校教育課

No	主 要 事 業 名	事 業 の 概 要
24	燕ロボット・プログラミング教室事業	小型自律動作ロボットを用いた「つばくろロボキッズ教室（全11回）」を実施し、小学3～6年生14人、中学生3人が参加したほか、学校への教材の貸出を行うなどプログラミング学習の充実に取り組みました。また、燕市にて開催されたWRO Japan新潟地区予選会に4チームが出場し、小学生部門で2位を受賞しました。 加えて、県が創設した「市町村プログラミング体験教室開催等促進補助金」を活用し、故障が増えていたロボットの入替を行い、より精度の高いプログラミングに挑戦できる環境を整えました。 なお、県補助金を活用し、ロボットを購入したため、令和5年度比で1,829千円の増となりました。
25	情報社会の必須スキル「読解力」育成プロジェクト	生涯にわたって学び続けるための土台となる「読解力」を育成する視点で、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指す授業改善に取り組みました。また、リーディングスキルテストのほか、新たに認知能力を高めることを目的とした「コグトレオンライン」の対象を小学生全学年と特別支援学級在籍の中学生へ拡充し、認知機能のさらなる強化に努めました。 なお、コグトレの対象学年拡充により、令和5年度比で906千円の増となりました。
26	コミュニティ・スクール推進事業	子どもや学校の抱える課題の解決、未来を担う子どもたちの豊かな成長のため、学校・地域・保護者が一体となって取組を行えるよう、全市立小中学校にコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）を導入しました。
27	STEAM教育推進モデル事業	STEAM教育の導入に向けたモデル事業を、民間企業との協働により実施しました。燕中学校をモデル校とし、PC教室だった場所を「つばくろLab」とし、令和5年度に導入した3Dプリンター・レーザーカッター等の機器を活用し、STEAM教育の推進に努めました。 なお、令和5年度に機器導入に係る教室整備等が完了したため、令和5年度比で1,082千円の減となりました。
28	子どもを育む推進事業	中学校区単位で絆スクール集会を実施し、いじめ見逃しゼロに対する意識の高揚を図りました。また、いじめ防止対策等専門委員会を開催し、「燕市いじめ防止基本方針」の一部改定について協議を行いました。また、3年に1度、市内全中学校を対象に実施している「泥かぶら」鑑賞会の実施をしました。
29	教育指導費	児童生徒の基礎学力の定着度を把握し、指導方法の改善を図るための学力検査（NRT）を実施しました。また、全校に教育指導事業費補助金を交付し、よりよい学校づくり、学級づくりを行えるよう、各校の状況に応じた取組を推進しました。 また、心理士を新規で配置し、就学児童、学級の中で特性のある子の心理検査の実施や保護者や教職員からの相談にも対応しました。 なお、令和5年度に、小学校の教科書改訂に伴う教師用指導書、デジタル教科書の購入を行ったため、令和5年度比で11,509千円の減となりました。
30	学習支援充実事業	小・中学校に学習支援員14人を配置し、各学校においてきめ細かな学習指導、特別活動及び生活指導等を行うことにより児童生徒の健全育成を推進しました。なお、会計年度任用職員の処遇改善等により、令和5年度比で9,204千円の増となりました。

学校教育課

No	主 要 事 業 名	事 業 の 概 要
31	小中学校教職員研修事業	教職員としての資質・能力（授業力、生徒指導力、学級経営力等）の向上を図るため、教職員を対象に各種研修を実施しました。
32	学校不応・ひきこもり相談事業	悩みを抱えた小学生から39歳までの子どもや若者、その保護者からの不登校をはじめとした様々な相談に、電話、面談、訪問、メールで対応し、解決に向けた支援を行いました。（相談件数：294件）
33	スクールソーシャルワーカー等派遣事業	児童生徒が抱えている様々な問題に対し、スクールソーシャルワーカーを派遣し、家庭や関係機関、教職員等に対し支援を行い、問題の解決を図りました。
34	適応指導教室事業	学校に行くことができない児童生徒のため、市内3カ所に校外教育支援センター（適応指導教室）を設置し、個人の状況に合わせた学習や自主活動を行い、社会的自立の支援を行いました。 なお、会計年度任用職員の処遇改善により、令和5年度比で3,298千円の増となりました。
35	別室登校支援事業	学校に登校できても教室に入れない生徒を対象に、各中学校へ学習支援を目的に教育支援センター指導員を配置し、生徒へ学習機会の提供や社会的自立の支援を行いました。 なお、会計年度任用職員の処遇改善により、令和5年度比で2,348千円の増となりました。
36	心の教室相談員派遣事業	各中学校に心の教室相談員を派遣し、悩みのある生徒に対する心のケアを行いました。
37	言語・発達障がい通級指導教室運営費	発達の特性に応じて児童生徒が積極的に学校生活を営むことができるよう、言語通級指導教室（燕西小・吉田小・分水小）・発達通級指導教室（小中川小・吉田南小・吉田中）で専門的な指導を行いました。 なお、令和7年度から燕西小・吉田小・分水小・燕中に発達通級指導教室を開設するための備品等を購入したため、令和5年度比で3,910千円の増となりました。
38	教育センター運営費	教育関係職員等の研修などを実施する教育センター施設の管理運営を行いました。 なお、令和5年度に冷暖房設備の入替工事が完了したため、令和5年度比で2,652千円の減となりました。
39	科学教育推進事業	燕・弥彦科学教育センターと連携し、理数教育を中心とした研修体制を充実・強化することで児童生徒、教師や市民の科学に対する意識向上を図りました。教職員に対する研修等を実施しました。
40	学校管理費	小学校の運営のため、学校備品等の購入や学校介助員の配置などを行いました。 なお、会計年度任用職員の処遇改善等により、令和5年度比で63,655千円の増となりました。

学校教育課

No	主 要 事 業 名	事 業 の 概 要
41	遠距離通学支援事業	遠距離通学児童を対象にスクールバスの運行を行うとともに、スクールバスを運行していない地区に助成金を交付することで、保護者負担の軽減と通学の支援を図りました。また、学校ごとに差異が生じていた保護者負担について均衡化を図るため、原則無償化とし、子育て世帯の負担軽減を行いました。また、小中川小学校へ統合となった旧松長小学校学区在住の児童を対象にマイクロバス1台を増台し、スクールバスを運行しました。 なお、保護者負担の無償化や燃料費高騰等によりバス運行に係る経費が増額したため、令和5年度比で7,835千円の増となりました。
42	教育振興費	経済的な理由により就学困難な児童の保護者及び小学校の特別支援学級に在籍している児童の保護者等を対象に、小学校でかかる費用の一部を助成しました。
43	理科教育等設備整備事業	子どもたちに科学的な知識や技能を習得させるとともに、工夫創造の能力を養うため、国の補助金を活用し理科教育備品を購入しました。
44	校外学習等実施費	市内小学校の校外学習・屋内プール施設を利用した水泳授業の送迎に係るマイクロバス等の運転業務の委託、観光バスの借上等を行いました。 なお、人件費の上昇により業務委託料が増額となり、令和5年度比で1,880千円の増となりました。
45	小学校整備事業	燕西小学校キュービクル変圧器取替（1,147千円）や分水北小学校1階手洗い場自動水栓・温水設備設置工事（1,001千円）など、各学校施設の整備・修繕を行いました。 なお、令和6年度は、高額な工事が少なかったため、令和5年度比で13,534千円の減となりました。
46	小学校プール解体・駐車場等整備事業	老朽化により使用を停止したプールの解体及び跡地の駐車場等整備を進めるため、燕南・小池小学校の工事、分水小学校の設計を行いました。 なお、令和6年度は設計・監理・工事ともに校数が減ったことから、令和5年度比で87,671千円の減となりました。
47	燕東小学校消防設備改修事業	消防設備（消火設備、自動火災報知設備、誘導灯設備等）の老朽化や現在の法令に適合していない（既存不適格）状態にある防火シャッターの改修工事を行いました。
48	旧燕東幼稚園解体・駐車場等整備事業	閉園した旧燕東幼稚園の有効活用を進めるため、施設の解体及び駐車場等整備工事に着手しました（令和7年度に繰り越して継続工事）。
49	燕南小学校屋内運動場外装等改修事業	建設から25年が経過し、雨漏りや外壁のひび割れなどの劣化が進んでいる屋内運動場を改修するため、外壁や屋根、建具、電気設備、機械設備等について、設計を行いました。
50	小学校整備事業[明許繰越]	燕西小学校プール濾過設備改修工事（11,890千円）を令和5年度から継続して行いました。

学校教育課

No	主 要 事 業 名	事 業 の 概 要
51	移動式空調設備導入事業 [明許繰越]	近年の記録的な猛暑を受け、小学校体育館内での児童の熱中症予防の対策として導入する「移動式空調設備」の購入及び工事を行いました。
52	小学校プール解体・駐車場等整備事業[明許繰越]	老朽化により使用を停止したプールの解体及び跡地の駐車場等整備を進めるため、燕東・小中川小学校の工事を令和5年度から継続して行いました。
53	燕東小学校屋内運動場外装等改修事業[明許繰越]	建設から23年が経過し、雨漏りや外壁のひび割れなどの劣化が進んでいる屋内運動場を改修するため、外壁や屋根、建具、電気設備、機械設備等について、工事を行いました。
54	学校管理費	中学校の運営のため、学校備品等の購入や学校介助員の任用などを行います。 なお、会計年度任用職員の処遇改善等により、令和5年度比で11,987千円の増となりました。
55	遠距離通学支援事業	遠距離通学生徒を対象にスクールバスの運行を行うとともに、スクールバスを運行していない地区に助成金を交付することで、保護者負担の軽減と通学の支援を図りました。また、学校ごとに差異が生じていた保護者負担について均衡化を図るため、原則無償化とし、子育て世帯の負担軽減を行いました。 なお、保護者負担の無償化や燃料費高騰等によりバス運行経費が増額したため、令和5年度比で2,494千円の増となりました。
56	教育振興費	経済的な理由により就学困難な生徒の保護者及び中学校の特別支援学級に在籍している生徒の保護者等を対象に、中学校でかかる費用の一部を助成しました。 なお、令和6年度は生徒数の減少に伴う支給人数の減少により、令和5年度比で2,424千円の減となりました。
57	理科教育等設備整備事業	子どもたちに科学的な知識や技能を習得させるとともに、工夫創造の能力を養うため、国の補助金を活用し理科教育備品を購入しました。
58	部活動外部人材活用事業	市内中学校の部活動に対して、専門的な技術指導力を有する指導者を外部人材活用事業として26人を派遣することにより、部活動の振興と地域社会との連携を促進しました。 なお、燕市未来いきいき地域クラブのⅡ期開始に伴い、令和6年9月から部活動時間が減ったため、令和5年度比で681千円の減となりました。
59	部活動の地域移行事業	国の指針に基づき、部活動の段階的な地域移行を進めました。部活動地域移行総括コーディネーター及びコーディネーターを配置し、教育委員会や指導者、参加者、学校等関係者をつないでいます。令和6年7月からすべてのスポーツを対象とした月2回の活動を行いました。また、「燕市未来いきいき地域クラブ検討委員会」を設置し、今後の方策等について議論を行いました。 対象の拡充に伴い、指導者や増員、総括コーディネーターの人件費の増加等により、令和5年度比で5,822千円の増となりました。

学校教育課

No	主 要 事 業 名	事 業 の 概 要
60	校外学習等実施費	市内中学校の校外学習に係るマイクロバス等の運転業務の委託を行いました。 なお、人件費の上昇により業務委託料が増額となり、令和5年度比で195千円の増となりました。
61	中学校整備事業	吉田中学校高圧気中開閉器更新（1,125千円）や吉田中学校FF暖房機交換工事（5,346千円）など、各学校施設の整備・修繕を行いました。 令和6年度は、高額な工事が少なかったため、令和5年度比で10,494千円の減となりました。
62	小池中学校長寿命化改良事業	内外装の劣化・損傷、設備機器の故障及び配線配管類の劣化が進んでいる小池中学校の長寿命化を図るため、令和6年度は長寿命化改良の設計を行いました。
63	中学校プール解体・駐車場等整備事業	老朽化により使用を停止した吉田中学校プールの解体及び跡地の駐車場等整備を進めるため、設計を行いました。
64	中学校冷暖房設備改修事業	設置から18年が経過している分水中学校の冷暖房設備について、交換部品の生産が終了することから、冷暖房設備の更新を行うための設計を行いました。
65	移動式空調設備導入事業 [明許繰越]	近年の記録的な猛暑を受け、中学校体育館内での生徒の熱中症予防の対策として導入する「移動式空調設備」の購入及び工事を行いました。
66	学校衛生管理費	児童生徒及び教職員の健康保持のために、各種健康診断や学校環境衛生検査を実施するなど、保健衛生面から教育環境の整備、充実を図りました。 消耗品購入及び消毒業務委託を含むコロナ対策経費が令和5年度で終了したことに伴い、令和5年度比で2,923千円の減となりました。
67	給食センター管理運営費	市内小中学校の児童生徒に、東部学校給食センター（燕地区）及び西部学校給食センター（吉田地区・分水地区）で調理した学校給食を提供しました。また、食材費が高騰する中、給食の質を保ちながら、子育て世帯の経済的な負担が増加しないよう学校給食会計に補助しました（50,263千円） 子育て世帯応援学校給食費補助金の増額、西部学校給食センターのボイラー入替等により、令和5年度比で21,942千円の増となりました。 ・年間食数（小学校733,577食、中学校394,573食） ・給食1食あたりの保護者負担額（小学校275円、中学校320円） ・平均給食回数（小学校約191回、中学校約192回）

社会教育課

No	主 要 事 業 名	事 業 の 概 要
68	勤労青少年ホーム（夢中館）管理運営費	勤労青少年ホーム（夢中館）の管理運営を行いました。
69	生涯学習推進費	第2次燕市生涯学習推進計画（平成28年度～令和5年度）の総括を行うため、事業実績等について燕市生涯学習推進協議会を開催し協議・報告しました。 また、生涯学習人材バンクの登録・活用の促進を図るとともに、生涯学習情報の提供に努めました。 なお、令和5年度は第3次計画策定のため、生涯学習推進協議会を例年1回のところ3回開催したことから、令和5年度比で110千円の減となりました。
70	社会教育総務費	社会教育行政にかかる社会教育委員の会議（2回）を開催しました。また、令和6年度に中越地区社会教育連絡協議会が解散し、例年出席していた社会教育委員対象の研修会がなくなったこと等により、令和5年度比で38千円の減となりました。
71	20歳記念事業	20歳の門出を祝う「二十歳のつどい」を開催しました。
72	中央公民館管理運営費	中央公民館の管理運営を行いました。 R6年度は大規模な修繕がなかったため、令和5年度比で2,016千円の減となりました。
73	中央公民館事業	青少年や成人、高齢者などの幅広い年齢層を対象に市民教養講座、つばめ目耕塾、燕大学、子ども体験講座などの講座を開催しました。 令和6年度は会計年度任用職員の処遇改善や、新たに大学連携講座を行ったことなどから、令和5年度比で1,061千円の増となりました。
74	地区公民館管理運営費	吉田公民館・分水公民館の管理運営を行いました。 令和6年度は会計年度任用職員の処遇改善等により、令和5年度比で4,413千円の増となりました。
75	地区公民館事業	各地区公民館で利用団体の育成と発表の場として、文化祭を行うとともに、成人や青少年を対象として講座を行いました。
76	分館管理運営費	中央公民館の5分館の管理運営を行いました。また、中央公民館の3分館、吉田公民館の2分館の指定管理業務委託を行いました。 なお、人件費の上昇や光熱水費等の高騰等で指定管理委託料が増加したこと等により、令和5年度比で2,128千円の増となりました。
77	分館事業	中央公民館の5分館において、各種教室や文化祭などの地域に密着した事業を行いました。 なお、講師の体調不良等により休止した講座があったことなどから令和5年度比で159千円の減となりました。

社会教育課

No	主 要 事 業 名	事 業 の 概 要
78	市民交流センター管理運営費	燕市民交流センターの管理運営を行いました。令和6年度はエレベーターや空調機器が故障し、部品交換等の修繕を行ったこと等により令和5年度比で2,346千円の増となりました。
79	分水公民館改修事業	老朽化した分水公民館の改修工事の設計業務委託を行いました。
80	松長公民館改修事業	雨水の吹き込みやサッシの傷みが顕著な松長公民館の外壁を中心とした改修工事の設計業務委託を行いました。
81	分館管理運営費[明許繰越]	一般車両の事故により小中川公民館の屋外トイレが破損したため、その撤去と同様に破損した公民館の外壁の一部を修繕する工事を行いました。
82	吉田ふれあいセンター管理運営費	吉田ふれあいセンターの管理運営を行いました。令和6年度は会計年度任用職員の処遇改善等により、令和5年度比で1,425千円の増となりました。
83	図書館管理運営費	市内3図書館の指定管理業務委託を行ったほか、図書館協議会を開催し、第2次子ども読書活動推進計画の推進と進捗管理等を行いました。令和6年度は、人件費の上昇や光熱水費等の高騰等で指定管理委託料が増加したことや「第3次燕市子ども読書活動推進計画」策定のため図書館協議会を例年2回のところ3回開催したこと等から令和5年度比で1,237千円の増となりました。
84	青少年育成センター事業	街頭補導活動など青少年健全育成のための事業を行いました。また、若者就労支援事業を三条地域若者サポートステーションに委託し、燕市内での出張相談、職場見学、ジョブトレーニング、各種セミナーなどを行いました。
85	文化会館管理運営費	文化会館の管理運営を行いました。また、文化会館運営審議会（2回）を開催し、文化会館の自主事業や利用状況等について協議しました。
86	文化会館自主事業	有名アーティストのコンサートや市内小学校の5・6年生を対象とした合同芸術鑑賞会など6事業を開催しました。
87	分水良寛史料館管理運営費	良寛遺墨や良寛ゆかりの人物の作品、資料の常設展示のほか、年4回の企画展を開催しました。令和6年度は会計年度任用職員の処遇改善等により、令和5年度比で1,355千円の増となりました。
88	長善館史料館管理運営費	長善館の功績を伝えるための資料の常設展示のほか、年4回の企画展を開催するとともに、引き続き、筑波大学と連携して長善館門下生の動向や教育内容についての調査研究を行いました。 なお、令和6年度は筑波大学との連携研究において書籍を作成する委託業務を実施したことや会計年度任用職員の処遇改善等により、令和5年度比で3,046千円の増となりました。

社会教育課

No	主 要 事 業 名	事 業 の 概 要
89	新分水良寛史料館基本構想策定事業[明許繰越]	新分水良寛史料館の基本構想を作成するため、事前調査として良寛や長善館の関係者へのヒアリングを行いました。
90	文化財保護事業	文化財収蔵庫の維持管理を行うとともに、市指定文化財保護のための環境整備等を行いました。 なお、今井家住宅（国登録有形文化財）の歴史的建造物総合調査の実施等より、令和5年度比で1,795千円の増となりました。
91	埋蔵文化財事業	石港遺跡発掘調査〔明許繰越〕をはじめ、市内遺跡の発掘調査や各種工事の立ち会いなど埋蔵文化財の保護を行いました。
92	埋蔵文化財事業[明許繰越]	また、夏休み子ども考古学教室・遺跡出土品展を開催したほか、石港遺跡の発掘調査現地説明会を開催するなど、埋蔵文化財の公開活用に努めました。 なお、発掘調査箇所や調査内容等により、令和5年度比で39,043千円の減となりました。
93	文化振興事業	燕市美術展覧会や良寛書道展、つばめっ子かるた大会の開催、文化団体に対する活動支援や、「郷土史燕」、「文芸つばめ」を刊行しました。 なお、大河津分水100周年事業として実施した「声優朗読劇」の脚本を基にした、「小説」と「絵本」の印刷が完了したことから、令和5年度比で4,476千円の減となりました。
94	水道の塔保存活用事業	国指定の文化財である燕市旧浄水場配水塔について、外壁の剥落を防止するための改修を行うにあたり必要となる保存活用計画を策定しました。
95	基金積立金	文化財の保護等を目的として令和6年度から開始した「自治体クラウドファンディング」で集まった寄附金を「燕市文化財保護振興基金」に積み立てました。
96	体育振興費	燕市スポーツ協会と燕市スポーツ少年団の活動を支援するとともに、スポーツ推進委員との連携により、地域スポーツの振興に努めました。
97	生涯スポーツ振興費	燕さくらマラソン大会や健康づくり教室、各種スポーツ大会を開催し、生涯スポーツの振興に努めました。 なお、燕さくらマラソン大会のハーフコースの参加枠を800人から1,000人に増やしたこと等により、令和5年度比で1,171千円の増となりました。
98	東京ヤクルトスワローズカップ少年野球交流事業	東京ヤクルトスワローズと縁の深い4都市（燕市、松山市、浦添市、西都市）の交流事業として、第12回東京ヤクルトスワローズカップ少年野球交流大会が沖縄県浦添市で開催され、予選を勝ち上がった吉田北小スピリッツを派遣しました。
99	ゆめみらいスポーツ教室	東京2020オリンピック・パラリンピックのレガシーとして、オリンピック等を講師に招き、小中学生向けに夢や希望を与えるスポーツ教室（陸上、水泳、ソフトテニス）を開催しました。

社会教育課

No	主 要 事 業 名	事 業 の 概 要
100	体育施設管理運営費	燕市体育センターほか24体育施設の指定管理業務委託を行うとともに、燕北多目的武道場、分水プールの施設管理を行いました。 なお、人件費の上昇や光熱水費等の高騰等で指定管理委託料が増加したこと等により、令和5年度比で34,449千円の増となりました。
101	三条・燕総合グラウンド施設組合管理運営費	三条・燕総合グラウンドの管理運営を三条市と共同で行いました。 なお、日本陸上競技連盟4種ライト公認更新のための改修工事や作業車両の更新などにより、令和5年度比で2,195千円の増となりました。
102	B & G海洋センター改築事業	B&G海洋センター移転改築に伴い、建設予定地のちびっ子広場解体工事を行いました。 なお、令和5年度は基本設計業務委託のみ実施したため、令和5年度比で28,126千円の増となりました。
103	サッカー場整備事業	整備予定地の測量業務を行いました。 なお、令和5年度は基本構想図等作成業務のみ実施したため、令和5年度比で7,733千円の増となりました。
104	分水多目的屋内運動場改修事業[明許繰越]	令和5年度の1号棟改修に引き続き、令和6年度は2号棟の人工芝、電気設備、シャッターの改修工事を行いました。
105	開放施設管理費	市内小中学校の体育館およびグラウンドの一般開放を行いました。
106	学校開放施設ナイター設備改修事業	吉田南小学校のナイター照明設備のLED化改修工事を行いました。 なお、令和5年度は2校だったことに對し、令和6年度は1校であったことにより、令和5年度比で38,868千円の減となりました。
107	社会教育施設災害復旧費[明許繰越]	能登半島地震発生の影響により、粟生津公民館の鋼製ドアを改修しました。

Ⅳ. 教育委員会の会議及び教育委員の主な活動状況

1 教育委員会の会議

●4月定例教育委員会【令和6年4月26日（金）】

諸報告：（１）行事報告及び行事予定

（２）教育長報告

（３）寄附報告

報 告：報告第 4 号 共催・後援の教育長専決報告について

議 案：議案第20号 燕市立小中学校における衛生管理者及び衛生推進者の選任について

議案第21号 燕市食物アレルギー対応委員会委員の委嘱について

議案第22号 学校薬剤師の委嘱について

議案第23号 燕市立小学校及び中学校における非常かけつけ人の委嘱について

議案第24号 燕市学校運営協議会委員の追加委嘱について

議案第25号 燕市 ICT 教育推進協議会委員の委嘱について

議案第26号 燕市 Good job つばめ推進事業実行委員の委嘱について

議案第27号 燕市子どもを育む推進協議会委員の選任について

議案第28号 燕市立小中学校における事務長及び事務主任の任命について

その他：（１）「羽ばたけつばくろ応援事業」審査員の選任について

●5月定例教育委員会【令和6年5月24日（金）】

諸報告：（１）行事報告及び行事予定

（２）教育長報告

（３）寄附報告

報 告：報告第 5 号 共催・後援の教育長専決報告について

協議題：協議第 4 号 新規共催・後援申請について

議 案：議案第29号 学校医等の委嘱について

議案第30号 燕市学校給食運営委員会委員の委嘱について

議案第31号 燕市社会教育委員の委嘱について

議案第32号 燕市図書館協議会委員の委嘱について

議案第33号 燕市スポーツ推進審議会委員の委嘱について

議案第34号 燕市スポーツ推進委員の委嘱について

議案第35号 燕市文化会館運営審議会委員の委嘱について

議案第36号 燕市文化財調査審議会委員の委嘱について

議案第37号 燕市青少年育成センター運営協議会委員の委嘱について

議案第38号 燕市公民館運営審議会委員の委嘱について

議案第39号 燕市未来いきいき地域クラブ検討委員会委員の委嘱について

●6月定例教育委員会【令和6年6月25日（火）】

諸報告：（１）行事報告及び行事予定

（２）教育長報告

（３）寄附報告

報 告：報告第 6 号 共催・後援の教育長専決報告について

協議題：協議第 5 号 新規共催・後援申請について

議 案：議案第40号 燕市就学援助実施要綱の一部改正について

その他：（１）令和6年第2回燕市議会定例会（教育委員会関係抜粋）

1）一般質問の概要について

2）財産の取得について（道の駅国上駐車場整備事業における事業用地）

●7月定例教育委員会【令和6年7月26日（金）】

諸報告：（１）行事報告及び行事予定

（２）教育長報告

（３）寄附報告

報 告：報告第 7 号 共催・後援の教育長専決報告について

●8月定例教育委員会【令和6年8月22日（木）】

諸報告：（１）行事報告及び行事予定

（２）教育長報告

（３）寄附報告

報 告：報告第 8 号 共催・後援の教育長専決報告について

協議題：協議第 7 号 新規共催・後援申請について

議 案：議案第42号 燕市指定文化財の解除について

その他：（１）未来いきいき地域クラブの活動について

●9月定例教育委員会【令和6年9月20日（金）】

諸報告：（１）行事報告及び行事予定

（２）教育長報告

（３）寄附報告

報 告：報告第 9 号 共催・後援の教育長専決報告について

協議題：協議第 8 号 新規共催・後援申請について

議 案：議案第43号 燕市地域コーディネーターの選任について

その他：（１）令和6年第3回燕市議会定例会（教育委員会関係抜粋）

1）一般質問の概要について

- 10月定例教育委員会【令和6年10月26日（木）】
 - 諸報告：（１）行事報告及び行事予定
 - （２）教育長報告
 - 報 告：報告第10号 共催・後援の教育長専決報告について
 - 議 案：議案第44号 燕市水道の塔の保存活用計画策定委員会設置要綱の新規制定について
 - 議案第45号 燕市水道の塔の保存活用計画策定委員会委員の委嘱について

- 11月定例教育委員会【令和6年11月25日（月）】
 - 諸報告：（１）行事報告及び行事予定
 - （２）教育長報告
 - （３）寄附報告
 - 報 告：報告第11号 共催・後援の教育長専決報告について
 - 議 案：議案第46号 燕市地域コーディネーターの選任について

- 12月定例教育委員会【令和6年12月26日（木）】
 - 諸報告：（１）行事報告及び行事予定
 - （２）教育長報告
 - （３）寄附報告
 - 協議題：協議第9号 新規共催・後援申請について
 - 議 案：議案第47号 燕市いじめ防止対策等専門委員会委員の委嘱について
 - 議案第48号 燕市教育委員会公告式規則の一部改正について
 - その他：（１）令和6年第4回燕市議会定例会（教育委員会関係抜粋）
 - 1）一般質問の概要について

- 1月定例教育委員会【令和7年1月28日（火）】
 - 諸報告：（１）行事報告及び行事予定
 - （２）教育長報告
 - （３）寄附報告
 - 報 告：報告第12号 共催・後援の教育長専決報告について
 - 議 案：議案第49号 燕市立学校の学区に関する規則の一部改正について
 - その他：（１）令和6年度燕市学校給食喫食量調査について
 - （２）令和7年第1回燕市議会臨時会（教育委員会関係抜粋）
 - 1）令和6年度燕市一般会計補正予算（第8号）

- 2月定例教育委員会【令和7年2月19日（水）】
 - 諸報告：（１）行事報告及び行事予定
 - （２）教育長報告
 - 報 告：報告第1号 共催・後援の教育長専決報告について
 - 議 案：議案第1号 燕市なかまの会要綱の一部改正について

●3月定例教育委員会【令和7年3月26日（水）】

諸報告：（１）行事報告及び行事予定

（２）教育長報告

（３）寄附報告

報 告：報告第 2 号 共催・後援の教育長専決報告について

協議題：協議第 1 号 新規共催・後援申請について

議 案：議案第 3 号 燕市立学校の学区に関する規則の一部改正について

議案第 4 号 燕市教育支援委員会規則の一部改正について

議案第 5 号 燕市教育委員会組織規則の一部改正について

議案第 6 号 燕市教育委員会処務規程の一部改正について

議案第 7 号 燕市教育委員会事務決裁規程の一部改正について

議案第 8 号 燕市教育委員会附属機関の委員の報酬に関する要綱の一部改正について

議案第 9 号 燕市学校給食センター設計業務プロポーザル方式業者選定委員会設置要綱の廃止について

議案第 10 号 燕市地域レジリエンス自立分散型エネルギー設備等導入事業プロポーザル方式業者選定委員会設置要綱の廃止について

議案第 11 号 燕市家庭教育講座実施要綱の廃止について

議案第 12 号 燕市教育行政評価委員会委員の委嘱について

議案第 13 号 教育財産の取得の申出について

議案第 14 号 第3次燕市子ども読書活動推進計画（案）について

その他：（１）令和7年第1回燕市議会定例会（教育委員会関係抜粋）

1）一般質問の概要について

2）契約の締結について（小池中学校長寿命化改良工事(建築)）

3）契約の締結について（小池中学校長寿命化改良工事(電気設備)）

4）契約の締結について（小池中学校長寿命化改良工事(機械設備)）

2 総合教育会議

●令和6年度 燕市総合教育会議【令和7年1月28日（火）】

検討テーマ：今後の不登校対策の方向性について

3 教育委員の視察

開催日	視察先	視察内容
8月22日（木）	吉田小学校 体育館	移動式エアコン可動状況の視察
	児童クラブフレンド	放課後児童クラブの運営状況を視察
11月25日（月）	西部学校給食センター	学校給食の試食会
1月17日（金）	燕南小学校	授業の様子を見学
	つばめみなみ児童クラブ	放課後児童クラブの運営状況を視察

4 教育関係会議

- ・全県教育長会議（4/15（月）新潟県自治会館）
- ・関東地区都市教育長協議会総会（4/25（木）～4/26（金）長岡市）
- ・関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会（5/31（金）茨城県古河市）
- ・新潟県都市教育長協議会春季定期総会（書面開催）
- ・新潟県市町村教育委員会連合会定期総会（7/19（金）上越市）
- ・新潟県都市教育長協議会秋季定期総会（10/25（金）新潟市）